

様式3

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（10） 学校名 豊田市立野見小学校

1 テーマ

地域とのかかわりを深め、地域を愛する野見の子の育成
－野見の「ひと もの こと」に学ぶ－

2 ねらい

本校の北方は、商業施設が広がり、市街地も比較的近く、交通の便もよい。南方は、矢作川や野見山の雑木林があり、自然に触れることができる。また野見神社や曾根遺跡等歴史的価値のある施設もある。これらの地域の恵まれた施設・環境等を生かし、故郷を愛する野見の子を育てることをねらいとする。

- ・地域を見つめ、地域に根差した体験を展開する。その際、子ども同士の関わり合いを重視した学習を進め、意欲と活力のある子どもに育てる。
- ・地域と連携を図り、地域の多くの人と関わることで心豊かな子どもを育てる。
- ・地域の人と子どもが関わる行事の推進、地域講師の発掘、情報発信を進め、学校の信頼を深める。

3 活動内容

1・2年生の交流活動として「おもちゃランドへようこそ」を実施した。今年度も地域講師を招いての活動は自粛したが、その分、2年生が1年生に向けて工夫して作ったおもちゃを紹介したり、一緒に遊んだりして交流を深めることができた。

3年生は、「地域の伝統文化を体験する」活動を行った。「ちゃらぼこ」「巫女舞」「相撲」について地域講師を招いて4回の体験活動を行った。回を重ねるたびに、それぞれの伝統文化に親しみをもち、真剣に練習する姿が見られた。子どもたちの学ぶ意欲と地域の方との結びつきを切らさないように活動を続けることができた。活動のまとめとして教えていただいた講師の方や2年生を招いて発表会を行った。12月には学習発表会において保護者へ発表した。この学習は、野見小学校の伝統にもなっており、3年生になると、「ちゃらぼこ」「巫女舞」「相撲」について学ぶことができる下学年は楽しみにしている。

特別支援学級は、校内の花壇や畠で野菜作りを行った。また、地域の高校や中学校との交流会を行った。

4 成果と課題

「校内整備員」は、昨年度に引き続き造園技術をもつた方のため、専門技術を生かし、外回りを隈なく整備していただいた。子どもたちが活動する上で危険のないように考えながら、季節に合わせて作業をしていただきとてもありがたい。学級園を使った学習をする前に、土の様子や支柱の立て方のアドバイスをしていただき、教員も多くのこと学ばせていただいている。

地域の「ひと もの こと」を生かした活動を継続していくうえで、学習につなげる人材や環境を新しく発掘していくことはなかなか難しい。今年度行った活動を来年度以降も継続しつつ、内容をさらに地域に発信し、新しい人材や環境についても発掘していくといけるとよい。

保護者アンケートでは、特色ある学校づくり推進事業の取組の評価が「とてもよい」「よい」をあわせて約90%と、高い評価を得ることができた。授業参観や学校ホームページを活用し、生活科や法眼学習の取組をしっかり発信した結果、本事業の有効性を保護者にご理解いただけたと考える。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・学年通信やホームページを活用して、それぞれの学年の取組や特色ある学校づくり推進事業に関する取組について写真を交えて隨時、紹介した。
- ・特色ある学校づくり推進事業にかかる子どもたちの学びを地域講師の方へ披露する会（3年生）や授業参観、学習発表会などで保護者に伝える場を設定した。